

PJPシート 自分編

ゆるき まさゆき

由留木正之(ゆるちゃん)

似顔絵・写真



キャッチコピー・座右の銘

「やってみな、わからんもんやなあ」「だーいじょうぶ、だーいじょうぶ！」

フランクな自己紹介(200文字以内)

出身は、神戸と大阪に挟まれた尼崎というカオスで、人間多様性がある下町に生まれる。
日本やカナダなどカヌーの川旅の途中、92年に25歳で郡上の自然と川に惚れ込み移住。
3人の娘の父、「稼ぎ」は郡上で自然体験や地域振興のためのツアー企画、運営、アウトドアガイドを26年ほどしている。得意な事は、美味しい食べ物を探して来る事、型にハマらず自然の中で遊ぶ事。近年郡上の自然や暮らしが、循環可能で無くなりつつある事に、心を痛め、自分にできる郡上への恩返しを模索中。

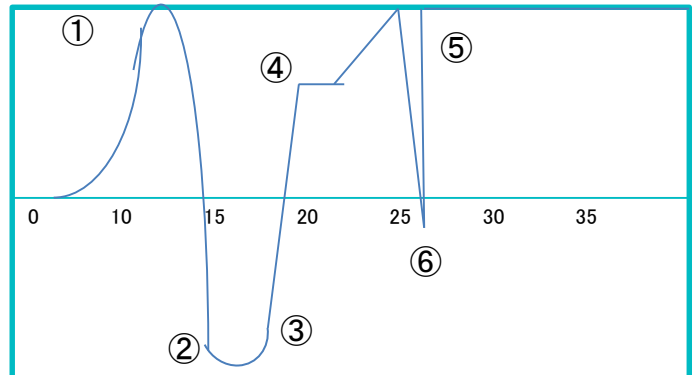
プロフィール文(250-300文字)

1967年兵庫県尼崎市生まれ。
前職はバイク屋さん。生き馬の目を抜くバイク街で、商売の怖さを学ぶ。
1992年、旅の末に郡上八幡に移住、カフェバー&アウトドアショップの店長を務め、週末はアウトドアツアーやグランピングサービスをこなす。
1995年里帰りしている時に彼女と一緒に阪神大震災に遭い、被災。彼女を郡上に呼び寄せ結婚。翌年独立し、アウトドアツアー会社アースシップ設立。
1998年地元零細企業と子ども自然体験事業の設立に携わり中核メンバーを務める。多い年には都市部より年間14,000人の受け入れを行ない、事業を通じて多くの郡上移住者を呼び込む。
一社)明宝ツーリズムネットワーク理事、NPO法人こうじびら山の家理事

自分ヒストリー

昔	～小学生	ヤクザの子や在日2世など多様性に富み、イジメの無い子ども時代を過ごす。夏休み、祖母の故郷、自然豊かな三重県熊野への帰郷が、人生最大の目的となる。
	～中高生	育ての親の祖母が死去。日常記憶が灰色。初めてバイクを借りて乗り、第一次「魂の解放」に出会う。友やクラスメートをバイクで何人も失う。
	～専門学校	デザイン学校に通い出してすぐバイクに夢中になり中退、バイク屋に就職。朝、夜と、六甲山の峠に通い何度も救急車で運ばれる。やはりバイク仲間を事故で失う。
	～社会人	バイクのレースで鈴鹿サーキットに通う借金王。井の中の蛙を知る。この頃バイクの旅をはじめ。
	～20歳	友人の友人であるアメリカ人の日本観光案内を軽く引き受け、日本人として何も知らず、語れず大恥をかき、バイク旅が加速、格闘空手にのめり込む。
	～22歳	旅先で川を下るカヌーと野田知佑の本に出会い衝撃を受ける。即カヌーを買い、カヌーによる川旅をはじめ、本物の「完全なる魂の解放」に出会う。
今	～25歳	釧路川、四万十川、吉野川、熊野川、木曾川、カナダデュコン川、そして魅惑の長良川と郡上の人々に出会い移住し、アウトドアツアー会社設立や自然体験事業の設立に携わり、家族と自給自足の暮らしを営む。

人生グラフ:横軸は年齢・縦軸はイキイキ度(幸せ度)。
人生で輝いていた時、沈んでいた時に見える化しましょう!



みんなが知らない自慢・芸・得意技

- ①直感力だけで生きて来れた。
- ②格闘空手全関西大会でK1のムサシに負けベスト16位
- ③食糧、エネルギーの大部分を自給自足している。
- ④国際基準の急流救助レスキュー資格を持っている。
- ⑤山や川で食べモノを見つけて来るのが得意。

由留木正之 (ゆるちゃん)

個人的背景

移住以来、26年間郡上でアウトドアツアー、自然体験を行っており、多い年には14,000人のツアーを受け入れていた実績がある。過去の事業を通じて移住者も20人以上おり、地域に協力者や協力団体も増えた。郡上カンパニーに関わるようになり、都市で生き苦しさを感じながらも、様々な理由から移住出来ない人達が多くいる事、郡上の僕のツアーで再生、価値観の変化する若い人達を、見てまだ僕にも出来る事があると確信した。既存のツアーを超える何かを作りたいと強く思った。

課題・ビジネスチャンス※事前にご提出いただいたエントリーフォームの②に対応しています。

ツアーの形態をとるが、入口にしか過ぎず、本来の目的は、都市にいながら、郡上とつながり続ける事が出来る現代版コミュニティー作り。就職に悩む学生や、職場で無理をして未来が見えない若者達に地元師匠達を引き合わせる個人ツアーや、仕事だけでしか繋がっていないプロジェクトチームなどのチームビルディング系ツアーなど、郡上の自然と風土、人々が持つ優位性を活かし、価値観や生き方まで変える事が可能。
課題：、師匠達はあと5年、僕は10年で体が動かなくなる。その前に次世代の育成と、郡上を体現する師匠の発見など、事業を継続するしくみ作りを行わなければならない。

プロジェクト概要※エントリーフォームの④に対応しています。

Another Home GUJO PJ

プロジェクトの目的は、ツアーを通じて郡上の自然に身を置く事で、素直な自分を取り戻し何度も通う事で、移住せずとも、繋がりを意識出来る事業の仕組み作りを行なう。

- ①人生の価値観が変わり、変化をもたらす各種ツアー作りと提供
- ②200～300人規模のインターネットを利用した繋がりを意識出来るコミュニティ作り。



あなたは、郡上のどんな①人・コミュニティ②自然③文化に根ざしていて、このPJはそれぞれにどんな価値を還元できると思いますか？ ※事前にご提出いただいたエントリーフォームの③を少し変形した形です。

	①人・コミュニティ	②自然	③文化
あなたが根ざしているもの	今の僕を作った郡上の多くの師匠達 郡上が気に入って移住した仲間	自分達を支える四季折々の川や 山や田畑や生きものたち	持続可能な自然との関わり方や 山や川などの見方
プロジェクトがそれぞれに対して還元できる価値	絶えつつある郡上ならではの生きる技術と知恵を 持つ人達と価値を再認識し共有する	自然の見かたが解る人が増え、 郡上の自然の豊かさ価値が上がる	持続可能な自然との関わり方を続けて来た文化 にスポットを当てる

ゆるき まさゆき

PJPシート プロジェクト編②

由留木正之(ゆるちゃん)

3年間のロードマップと3年後にどうなしてほしいか

1年目 ↓	武器確認と必要な人たちを知る期	やること	<ul style="list-style-type: none"> 武器である郡上の風土文化、人を知る 武器である由留木や協力事業体を知る 我々を必要としている都市部のニーズを知る 	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画作成 商品開発 モニターツアー計画、実施 	<ul style="list-style-type: none"> 販売法の選定作業 WEBコミュニティの試作 販促動画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> アルバイトスタッフ確保 人材育成 申込みウェブサイト作成
2年目 ↓	顧客ニーズ別ツアーブラッシュアップと販路拡大期	やること	<ul style="list-style-type: none"> 資金と顧客を同時に得るためのクラウドファンディング 事業計画修正 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客別新規商品開発 顧客別新規販路拡張営業 	<ul style="list-style-type: none"> WEBコミュニティの拡張充実 フィールド開発 	
3年目 ↓	経済的テイクオフ期	やること	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画修正 顧客別新規商品開発 	<ul style="list-style-type: none"> WEBコミュニティの充実 顧客別新規販路拡張営業 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成 アルバイトスタッフ確保 	
3年後の理想状態						
<p>経済的には3年目には、1.5人が何とか食っていける状態。週末はほぼツアーで埋まっており、リピーターが50%いる。 一緒に喜んだり、ぶつかったりしながら「仲間」として、郡上で根を張りここで生きる覚悟を決めてくれている。経済とは別に日々を一緒に楽しんでいる。</p>						

どんな人来てほしいか？スキル/マインド/実績など

募集メッセージ(プロジェクトのわくわく感)

PJPの関わり方(該当する項目に○をつけてください)

<p>僕の引き出しの隅まで解放し、ガラクタ&宝を整理する。郡上を好きになる自信があり、自分が好きになった事には、しぶとい人。 僕に無いスキルや情報があると嬉しい、マーケティングや情報管理や僕の管理。感性があり、物事をブラックかそうでないか、仕事かプライベートかで分けない人。</p>	<p>自然を土台に自分らしく、仲間に必要とされ暮らしてゆく。毎日が発見の連続で、精一杯生きている実感。それが僕の26年。 一緒に仲間になってくれませんか？毎日と一緒に喜んだり、悲しんだりしながら日々を送りましょう！ このPJはその可能性を秘めていると確信しています。</p>	<p>A. 私自身がフルコミットして一緒に取り組みます。</p> <p>B. 私が今取り組んでいる事業を基盤に、新しい事業を一緒につくります。</p> <p>C. 私にとっても未知の分野、新しいチャレンジです。</p>
---	---	---

暮らしのイメージとサポート

<p>プロジェクトの対象地域 主に郡上明宝地域</p> <p>その地域での暮らしはどんなものですか？ 自然は厳しい。夏の日中は暑く、冬は寒い。 だからこそ人々は優しく、風土に裏打ちされた暮らしが残る場所。 自分次第で只の田舎にもパラダイスにもなる。 どんなライフスタイルにするかがカギ。先輩移住者多し。</p>	<p>あなたはプロジェクトに応募する人の暮らしにどんなサポートできますか？(-100文字) 26年間様々なトライ&エラーを繰り返している経験アドバイス、自給自足の知恵、暮らしに必要な道具を貸したり、人脈や技術、お金以外のすべて。</p>
---	--